

# 実践・社長の経営戦略 CD-R

「社長の実力を決定付ける4大要因のレベルを高めれば、  
1人当たりの純利益が、業界平均の2倍～3倍多くなる」

従業員100人以下の会社では、業績の96%以上が社長1人の経営実力で決まります。難しい経済環境が続いている中、1人当たりの純利益を業界平均の2倍以上出して良い会社にするには、社長の経営実力を同業者100人中**5番以内**に高める必要があります。

その経営実力は4つの**大きな要因**によって成り立っています。この4つに的を絞って研究すると、目標がはっきりしているので経営実力が早く高まります。

社長の経営実力が決まる**第1の要因**は、社長が責任を持って担当する「正しい役目」を認識することになります。社長の役目などすでに解かっていると思われるでしょう。しかし意外にはっきりしてないので、社長の役目は人によってバラバラになっています。これが業績を悪くする原因になっていることは、意外に知られていません。社長の役目は経営を構成する**7大要因**になります。

社長の実力が決まる**第2の要因**は、社長が責任を持って担当すべき大事な役目の、**実行手順**になります。この中で最も大事になるのが**戦略**です。ランチェスター法則の研究からその戦略には、特別な条件を満たしている1位の会社だけが実行できる**強者の戦略**と、1位以外の会社が実行すべき**弱者の戦略**の2種類があることが解かりました。

もし戦略と戦術の区別がつかず、強者の戦略と弱者の戦略の区別もつかないと、根本的に間違った経営を全員ですることになるので、ひどい結果になってしまいます。

**第3の要因**は、実行時間量になります。競争条件が不利な会社の社長は、必勝か圧勝の仕事時間を守らなければなりません。2代目が後を継いだときに累積赤字があるなら、決死型の仕事時間が必要になります。

**第4の要因**は、社長の人柄になります。

辛口ですが、これらを解かりやすく説明しているのがこのCDです。損はさせません。

## 社長の経営戦略

定価 **4,725円** (税込)  
CD-R 1巻。72分。テキスト付



1938年生。久留米市出身。福岡大学経済学部卒。建材メーカーで経理と営業を担当後、28歳のとき企業調査会社に転職。中小企業の信用調査と倒産会社の取材を担当。34歳のときにランチェスター法則と出会い、以来同法則を経営全体への応用を研究。44歳のときにランチェスター経営を創業。講演は、4000回になる。

お申し込みはFAXで。

ご住所	〒	業種			従業員	人
会社名		役職		ご氏名		様
TEL		FAX				

社長の経営戦略

ランチェスター経営(株)

制作 竹田陽一

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通り2-3-3

HPは <http://www.lanchest.com/>

TEL 092-781-6122

FAX 092-781-6001